


受賞者氏名	田中 豊	
所属	デザイン工学部 システムデザイン学科	
受賞年月日	2022年5月27日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	一般社団法人日本フルードパワーシステム学会	
受賞名	学術貢献賞	

受賞(研究)内容詳細

この学術貢献賞は、多年フルードパワー工学・技術の研究に従事し、その間数多くの論文を発表して、当該工学・技術分野に多大の貢献をし、その累積効果が抜群であって、しかも(一社)日本フルードパワーシステム学会に対する貢献大なる研究者に授与される賞です。

受賞者は、当該学会に関連するフルーパワー工学において、主な査読付き研究論文が 50 編以上あり、そのうち、当該学会の前身である(社)日本油空圧学会時代の若手研究者表彰として研究論文「インバータ運転を用いた省エネルギー形定圧油圧源」により第 1 回 SMC 賞(1991 年 5 月)、研究論文「空気圧・圧電超音波複合形アクチュエータによる精密位置決めシステム」により学術論文賞(1995 年 5 月)、研究論文「パラレルメカニズムを用いた曲げ加工機による管材の三次元加工」により学術論文賞(2010 年 5 月)をそれぞれ受賞しています。また日本で開催された第 11 回国際シンポジウムの発表論文「Control of Air Bubble Content in Working Oil by Swirling Flow」が国際的に権威ある GFPS Best Paper Award(2021 年 10 月)を受賞しています。さらに当該学会の副会長・理事、国際シンポジウム実行委員長など多くの役職に携わり、学会の運営発展にも尽力してきました。

今回の受賞はこうした永年の活動が認められたものであり、研究成果の多くは、当時の法政大学工学部や現在の法政大学デザイン工学部の高機能メカトロデザイン研究室に所属した優秀な卒業生・修了生の皆様のご協力の賜物でもありと深く感謝しております。今後とも引き続き、フルーパワーシステム工学の発展に貢献していきたいと考えております。

